

さい

# よりん彩



第56号

2017. 12



普及啓発事業  
10月21日 鳥取看護大学・鳥取短期大学シグナス祭へ イベント参加  
男女共同参画に関するクイズに挑戦してもらいました。



## 特集:今こそ災害に備え女性の力を 鳥取県中部地震から1年

P2・P3

### 目次



なぜ災害時に女性の力が必要か  
避難所運営に女性の力を  
避難所運営のポイント  
女性リーダーを育てる

- シリーズ 時代を切り拓いた女性たち (中田正子さん) ..... P 4
- あなたの町の男女共同参画 (倉吉市) ..... P 4
- きらり輝く JR西日本 米子支社  
安本 智絵さん (運転士) ..... P 5  
松本 望さん (車掌) ..... P 5
- よりん彩相談室より ..... P 6・7
- 情報ライブラリー ..... P 7
- 知る得コーナー ..... P 8

鳥取県男女共同参画センターの愛称「よりん彩」とは「ちょっと寄っていただいな」という意味の言葉で、気軽に利用していただきたい、老若男女いろいろな色(彩)を寄せ合って男女共同参画社会づくりの輪が広がってほしいという願いが込められています。

## 今こそ、災害に備え女性の力を

# 鳥取県中部地震から1年

平成23年3月の東日本大震災、平成28年4月の熊本地震、そして平成28年10月の鳥取県中部地震、また台風の暴風雨による災害等、近年、自然災害が多発しており、私たちの周りでいつ災害が起こってもおかしくありません。日常から、いつ起きても大丈夫なように災害に備えることが大切になってきます。これまでの大規模災害の経験から、女性の力を生かし、多様な人が防災や復興に参画できる地域づくりが必要とされています。過去の災害の経験と教訓に学び、私たちにできることを考えてみましょう。

## なぜ、災害時に女性の力が必要か

長い間、防災や災害復興は男性の分野と考えられており、女性が関わるものではないと認識されていました。防災会議や防災計画の策定など、意思決定の場に女性がほとんど入っていなかったため、女性の視点が入らず、避難所運営等において女性の声が反映されないまま取組が進められてきました。そのため、女性たちは様々な問題を抱え込むことになりました。

女性たちが抱える様々な問題はなかなか表面化せず、改善に結びつくことがありませんでした。ほとんどの避

難所は男性がリーダーで、女性から要望しにくかったり、あきらめてしまったりして、問題対応がされないまま、悪環境の中で過ごしました。

その状況を変えたのは、被災女性たち自身からの声や、普段から女性に寄り添い支援活動を行ってきた女性たちからの情報発信でした。このことにより、女性が抱える問題が明らかになってきたのです。そのため、災害時には男女共同参画の視点を持ち取り組むことが必要です。

## 避難所運営に女性の力を

避難所が、安心安全というわけではありません。幸いにも鳥取県中部地震では、亡くなられた方はありませんでしたが、阪神淡路大震災では多くの高齢者が亡くなり、熊本地震ではエコノミー症候群で体調を崩す人が多くいたりしました。避難所は、多くの人々が一緒に生活する場となります。衛生面やプライバシーが守られないという事で身体的・精神的疲労を感じるようになります。

現状としては、家庭や育児、介護の場を主に担っているのが女性だと考えられます。生活に根ざした知識や能力を生かし、多様なニーズに対応する力を発揮できるのは女性です。女性がリーダーシップを発揮しやすい体制を作り、男女で避難所運営を行うことができるような体制を作っていくことが大切です。

### 女性リーダーを育てる

鳥取県男女共同参画を進めるネットワーク会長

おまつ えつこ  
大月 悦子

地域防災に必要なのは、防災会議や災害復興会議、避難所運営会議等において発言できる（意思決定に参画できる）女性の存在だと思います。こうした場に女性が参画することにより生活に密着した視野が広がり、合理的かつ効果的に作業を進めていくことができます。特に鳥取県においては、昼間地域にいる時間が長く、地域の事情に通じたシニア女性が適任です。こうしたシニア女性が、防災・災害対応に関する様々な知識を習得、あるいは体験して学んで防災会議等に参画できることが必要です。こうした取り組みが若い層に広がることを願っています。また、こうしたシニア女性の活動を将来にわたってバックアップしていくリーダーも必要です。男女共同参画をすすめるネットワークでは、今後、シニア女性のリーダーの養成などに取り組んでいきたいと考えているところです。

# 避難所運営のポイント



## 1 多様な人々が一緒に過ごせる場所を作ること

### ●避難所生活の要望を聞く

要望が言い出せず、健康リスクが高まり、命を落とすことにもなりかねない。(高齢者・障がい者・子ども・病気の人・女性などから)

### ●負担の偏りの解消

一部の男性役員たちに責任が集中する形では過労傾向となる。衛生・栄養・介護・育児などの知識・経験が活かされない。

### ●平等な役割分担

誰でもできることは性別や年齢に関係なく担ってもらおう。女性のリーダーを登用し、障がい者や介護経験者にも運営に参画してもらおう。

## 2 施設の使い方

- 普段から地域住民及び施設管理者と、施設の利用やレイアウト、運営方法等について話し合いを持つておく。

## 3 暴力防止・安全の確保(性暴力も含む)

- 生活環境の激変によるDVやセクハラ、ストーカー、性暴力、虐待を防ぐことが大切。
- 災害直後から、照明をしっかりと確保できるようにする。
- 昼夜問わず、大勢の人がいる場所でも暴力・性暴力は起こるので、暴力・性暴力を許さない環境づくりが大切。
- 防犯担当も男女両方が担い、特に被害を受けやすい女性と子どもが相談しやすい安全な環境改善に努める。
- 犯罪行為は許されないこと、何か問題に気づいたらすぐに通報できるよう、警察との連携、見回りの強化、防犯ブザーの配布などを積極的に行う。

## 4 心身の健康の維持

- 過労による心身の疲れやつらさを和らげるよう、休息のための時間・空間を確保する。
- 責任や作業は一部の人で抱え込まずに、みんなで分担して行う。
- 災害関連死を防ぐために、見守りや声かけをする。
- 身体機能維持とエコノミー症候群の防止のために、衛生・育児・介護及びトイレの環境の整備、水分補給の徹底とともに、軽い運動や散歩を行う。

## 5 トイレ・衛生

### ●トイレ

男女別に分け、設置数は男性トイレ:女性トイレ=1:3の割合を目指し、介護が必要な人や性同一性障害の人にも使える多目的トイレを設置する。

### ●衛生

災害直後から衛生対応として、トイレ(汚物処理・清掃)と感染症対策についても住民で取り組むことができるようにしておく。





法服姿の中田 正子

写真(個人蔵)／写真提供(鳥取市歴史博物館)

シリーズ

## 時代を切り拓いた鳥取の女性たち②

### ■ 日本初の女性弁護士

なか た まさ こ  
**中田 正子**

(1910～2002)

中田正子さんは明治43(1910)年12月1日、今の米子市出身の職業軍人・田中國次郎と槇子夫妻の次女として東京で生まれました。新渡戸稲造が校長を務める女子経済専門学校で学んだ後、附属高等女学校で教壇に立ち学費を賄いながら日本大学法学部の選科生となり、昭和9(1934)年、明治大学に女子部ができると法科三年に編入しました。猛勉強の末、27歳となった昭和13年、他の2名とともに女性で初めての司法試験合格者となりました。東京の弁護士事務所勤務中、鳥取県出身の中田吉雄さんと昭和14年に結婚し、翌年からは弁護士として働きはじめました。

雑誌「主婦の友」の法律相談を担当するなど多忙ながらも充実した日々を過ごしましたが、昭和20年、夫の肺結核の悪化に伴い、夫の実家のある八頭郡若桜町に疎開しました。

終戦後、新憲法や新民法が施行され、正子さんも婦

人会の集まりなどで人々に話す機会が多くなっていました。夫の吉雄さんが県議会議員、次いで国会議員となり、正子さんも鳥取の地で代議士の妻として務めながら、弁護士の仕事も再開し、昭和25年、鳥取市馬場町に「中田正子法律事務所」を開きました。

「私は女性のために法廷に立っているのではない。依頼人の権利のために戦っている」の信念のもとに弁護士業務に従事し、女性で初めての日本弁護士会連合会理事、鳥取県弁護士会会長を務め、裁判所の調停委員や鳥取雇用機会均等調停員なども歴任。女性弁護士第一号として華々しく注目を集め世に出た正子さんは、終生鳥取の地で弁護士の道を貫かれ、平成14(2002)年、91歳の生涯を終えられました。

参考文献：鳥取県『とっとり女性史 戦後からの歩み』(2006)  
鳥取市歴史博物館展覧会図録『日本初の女性弁護士 中田正子』(2006)  
鳥取市『鳥取市人物誌 きらめく120人』(2010)

## あなたのまちの男女共同参画

### ～市町村の取り組み～

倉吉市

県内各市町村が男女共同参画の実現に向けてどのような取り組みをしているかをご紹介します。

第10回は倉吉市企画振興部人権局 男女共同参画係長 やまさき あきこ 山崎 昌子 さんにお話をうかがいました。



### ■ 取り組み

倉吉市では、男女共同参画を推進していくため、市内13地区から推薦された男女1名ずつと公募の市民を男女共同参画推進スタッフとしています。スタッフの皆さんには、研修会や、市や地域団体の取り組みに参加してもらい男女共同参画を理解・推進していただきます。そして身近な問題を話し合い、地域の課題について考えながら、啓発活動に協力していただいています。

これまでの本スタッフの活動としては啓発資料の作成、自治会学習会での寸劇による啓発活動、平成26年度に制定した倉吉男女共同参画推進まちづくり表彰制度の素案の作成や第5次くらし男女共同参画プラン(倉吉市男女共同参画基本計画)への提言など様々な活動に取り組んできました。

今年度の活動は、各自治会で実施される人権同和町内学習会の機会をとらえ、身近な問題をテーマにした朗読劇を披露し啓発活動を行っています。具体的には、自治会役員の女性登用の推進や、家庭内の介護は誰がするものなのか、といった内容の朗読劇を通じて男女共同参画についてグループ討議等で考えてもらいます。

また、各地区での学習会等で実践していただくため、ファシリテーター研修を受講し、グループ討議を進めていくためのポイントを学びました。

今後も、各地区の様々な年代のスタッフが研修、啓発活動を重ね、行政と地域との「かけはし」となっていただき、各地域の男女共同参画を推進していきます。

# きらり輝く

県内等で活躍している  
個人や団体を紹介します。

## 安全で快適な 鉄道を支える



運転士  
やすもと ちえ  
安本 智絵さん



車掌  
まつもと のぞみ  
松本 望さん

JRというと、国鉄時代から男性が多い職場のイメージがありますが、近年は女性の採用も増え、女性が働きやすい職場づくりに力を入れているそうです。女性の運転士さんと女性の車掌さんという組み合わせの列車も見かけるようになりました。今回取材した鳥取鉄道部には、現在、運転士さん、車掌さんの約1割、駅員さんの約3割が女性ということです。また、鳥取県内では、列車の整備や線路の保守をする女性社員もいらっしゃるそうです。

今回は、鳥取鉄道部鳥取列車支部に所属する運転士の安本智絵さん、同じく車掌の松本望さんにお話を伺いました。

### ○お2人がJRに入社されたきっかけはなんですか。

**安本さん：**私は神戸の出身で、子どもの頃からよく列車に乗っていたこともあり、運転士を希望して入社しました。神戸で勤務していた頃は最大12両編成の電車を運転するなど、憧れの仕事に就くことができました。その後、結婚を期に転勤し、子どもができたことから育児休職を2年取得しました。復職の際、家族の協力を得ながらも、研修を受講し、新たに車種転換<sup>(※1)</sup>にチャレンジしました。そして、キャリアアップに繋がる試験に合格して免許を取得しました。現在は山陰エリアを走る普通列車だけでなく、特急列車の「スーパーはくと」や「スーパーまつかぜ」「スーパーいなば」も運転しています。

※1 列車を運転する免許は、電気で動く「電車」の免許（例：やくも）やディーゼル機関で動く「気動車」（例：スーパーはくと、スーパーまつかぜ、とっとりライナー）などがあります。安本さんは、当初「電車」の免許を所持していましたが、山陰エリアは気動車が多く運行していることから、復職後に「気動車」の免許も取得しました。

**松本さん：**私も学生時代、境線を利用し通学していました。また、親戚もJR西日本に勤めていたので親近感がありました。大阪で駅員や車掌をした後、今の職場に来ました。現在は「トワイライト・エクスプレス瑞風」をはじめ、「特急スーパーはくと」などにも乗務しています。

### ○JRの仕事でのやりがいを感じることは何ですか。

**安本さん：**例えば大雨や大雪といったイレギュラーな状況下でも、その天候に応じた運転を行い、お客様を目的の駅まで安全に送り届けることができたときにやりがいを感じます。

**松本さん：**車掌はお客様のご案内やアナウンス等でふれあう機会が多くありますが、大阪と違い鳥取のお客様はご高齢の方が多いので、さまざまな機会でご感謝されることが多く、人の温かみを感じることです。

### ○松本さんは「トワイライト・エクスプレス瑞風」に乗務されていますが、經由する地域の期待を感じますか。

**松本さん：**停車駅では様々な歓迎行事がありますし、停車駅以外の沿線でもたくさん見学していただける方がいらしゃり、地域の大きな期待を感じます。それは、温かいふれあいを望むお客様のお客様にも伝わっており、相互作用で地域活性化につながっていると感じます。

### ○「トワイライト・エクスプレス瑞風」の乗務で特に気を配っているところはありますか。

**松本さん：**「トワイライト・エクスプレス瑞風」に乗車されるお客様は、最高のサービスやおもてなしを期待していらっしゃいます。そうしたお客様にどうしたら満足してもらえるか常に考えて乗務しています。

### ○仕事の上で、女性として困っていることや今後望むことは何ですか。

**松本さん：**少しずつ改善していますが、化粧室などといった設備面でまだ十分でないと感じるときがあります。

### ○安本さんは結婚してお子さんもおられますが、勤務面ではいかがですか。

**安本さん：**2年間の育休休職期間を経て、職場復帰しました。運転士は変則的な勤務で、朝早く出勤する場合もありますが、私は同居する家族の助けを借りて、運転士として働き続けています。フルタイムでの復帰が難しい場合には、通常よりも勤務を少なくできる「短時間勤務制度」や「短日数勤務制度」<sup>(※2)</sup>などがあり、そうした制度を活用して働き続けることもできます。当初、産休・育休を取得すると、キャリアが止まってしまうのではないかと不安はありましたが、これまでどおり仕事をしています。周りの女性も、出産・育児を経ても制度を活用しながら、仕事と家庭を両立してほしいです。

※2 「短時間勤務制度」は一日の労働時間が6時間となる制度です。「短日数勤務制度」は1ヶ月の労働日数を2日又は4日減らすことができる制度。なお、来年4月1日よりさらに拡大し、8日減らすことが可能となります。

### ○体力面で不安を感じることはありませんか。

**安本さん：**例えば鹿や猪といった動物と列車が衝突、線路をふさいでいるときは撤去しなければいけないので、それに不安を感じていました。ただ、その場合、別の社員に撤去を依頼することもできます。また、列車を連結するときには力のいる作業もありますが、体力差のある女性だけでもできるようになっています。

### ○これからJR西日本で働きたい女性へアドバイスはありますか。

**松本さん：**女性の社員が珍しくなくなり、ほとんどの職場に女性がいて、みなそれぞれに活躍しています。困ったことや不安なことに対しても、アドバイスを受けられますので、安心してJRを目指してください。車掌はお客様に注目され、憧れられるやりがいのある職業です。

**安本さん：**仕事に誇りが持てる職場です。運転士も憧れられる職業です。

### ○最後に鉄道マニアの方に一言。

**松本さん：**遠くから列車を見に来ていただくなど、いつもJR西日本を応援していただきありがとうございます。ただ、線路の中まで入って写真を撮る方が時々おられますが、列車を運行する立場から見ると、非常に危険ですので、線路内に入らないようお願いいたします。

JR西日本米子支社によると、近年はこれまで以上に女性の採用を増やし、かつ育児や介護といった事情を抱える社員も働きやすい設備の整備や制度の導入等を積極的にすすめているそうです。鉄道で働きたい女性にはとても働きやすい職場です。また、JR西日本では、広く門戸を開いて社員を募集されていますので、興味のある方はホームページをご覧ください。また、JR西日本をご利用の際には、きらりと輝く女性社員を探してみてください。

よりん彩相談室主催「相談に関わる人たちのための講座」の中で、『怒り』を理解し、上手につきあう』は、大変関心の高いテーマでした。そこで、講師の高山直子さんに『怒り』について改めてご寄稿いただきましたのでご紹介します。



カウンセリング&サポートサービスN  
カウンセラー  
たかやま なおこ  
高山 直子さん



## 「怒り」の感情こそ自分を知るカギとなる ～「怒り」をコミュニケーションにつなげるためのコツ～

「喜怒哀楽」と言われるように、「怒」も重要な感情の一つですが、つきあいづらい感情でもあります。つきあいづらく感じる理由の一つとして、「怒り」の感情が相手との意思疎通を困難にすることが考えられます。怒ってしまったがために、相手は自分の「怒り」だけ受け取り、本当に自分が伝えたかったことは理解してもらえず、コミュニケーションとして成立しなかったという経験はありませんか？「怒り」の感情に伴うエネルギー消費は大きいので、建設的でも生産的でもない「怒り損」したように感じ、自責の念が強くなる傾向があります。こうした経験は、「怒り」という感情にマイナスのイメージを植え付けるだけでなく、自己尊重心（自尊感情）にも影響します。

私たちが、怒りの感情につきあいづらさを感じる大きな理由は、「怒り」が自己尊重心を揺さぶる感情だからです。しかし一方で、自己尊重心を揺さぶるということは、「怒り」がいかに私たち個々人の大切な部分（自己尊重心を形成する上で核となる価値観や基準）につながっているかということでもあるのです。

例えば、自分の話を最後まで聞かずに自分を批判してきた相手に対して、怒りながら反論したところ、会話が断絶してしまった時、あなたは自分が冷静でいらなかったこと、伝えたかったことを上手く伝えられなかったこと、相手との関係が壊れたことなどを理由に自分を責めるかもしれません。このように、怒りの感情を持ちながらコミュニケーションを成立させることほど難しいことはありません。しかしながら、コミュニケーションが成立しなかったという結果だけに着目して、自分の怒りに対するイメージを単にマイナスに捉えるのはもったいないかもしれません。「怒り」によってコミュニケーションが成立しなかった時こそ、その怒りを自分で一度分析してみたいのです。では、どのように分析したらいいのか？上記の例を使って分析してみましょう。



### ステップ1：自分が怒った理由は何か？

自分の話を最後まで聞いてもらえなかったこと。相手が自分を批判してきたこと。

### ステップ2：怒りが湧き出る前にどんな感情があったのか？

自分の話を最後まで聞いてもらえなかったことが「残念（がっかりした）」「悲しい」「情けない」と感じた。一方的に批判されたことの理不尽さに対して「悔しい」「尊重されていない」「不安になり自分を守りたい」と感じた。

### ステップ3：その時、本当に相手に伝えたかったことは？

「最後まで自分の話を聞いてもらえなかった」「一方的に批判されて悲しかった」「共感してもらえず不安になった」

このように分析してみると、その時は怒りに任せて反論してしまい、コミュニケーションは成立しなかったかもしれませんが、自分が怒った理由を理解することで、自分の怒りの感情を受け止めやすくなります。自分の怒りを受け止めるために必要なのは、「怒り」の前に発生している感情が何かを洞察することです。これらの感情を「一次的感情」といいます。ステップ2の「残念（がっかりした）」「悲しい」「悔しい」などが「一次的感情」です。これらの「一次的感情」が複雑に絡み合い、「二次的感情」として「怒り」になります。「怒り」と向き合おうとすると、「怒り」に対するマイナスイメージが勝ってしまい自責の念が強くなり向き合うことを避けたいようになりますが、怒りの元となった「一次的感情」とは不思議と向き合いやすくなります。

次に、怒りに任せて発した言葉は、相手に受け止めてもらえず、自分の「伝え方」の下手さに対する自責の念を強くしますが、自分が相手に伝えたかったことを、この一次的感情を表す言葉を使って整理してみると、本当に伝えたかったこと（気持ち）が鮮明になります。もし相手と再度コミュニケーションを取る機会があれば、時間が経っていたとしても、ステップ3の内容を相手に伝えてみるのも一つです。怒りの感情しか伝わらなかった時よりも、相手の理解につながるかもしれません。たとえ理解につながらなかったとしても、自

分はきちんと相手に伝えたことで、理解につながらないのは相手の問題であると割り切りやすくなり、むやみに自尊感情を下げずにすみます。

「怒り」の感情は、自分が大切にしているものに気づくきっかけを与えてくれます。自分の怒りを分析し、自分で理解できなければ、相手が聞きやすい言葉で相手の理解につながるように伝えることは不可能です。その場で怒ってしまい上手く伝えられなかった自分を責めて、伝えること自体を諦めてしまう人は少なくないですが、その場で伝えることだけがコミュニケーションではありません。怒りをきっかけに自身を分析することで、機会を別にしてコミュニケーションに活かすことはできるということです。だからこそ「怒り」の感情をただ毛嫌いせず、きちんと向き合い、自分自身を理解する道具として、そして他者に自分を理解してもらう道具として、活用してほしいと思います。

高山 直子 (たかやま なおこ) さん

女性問題専門カウンセラー。セクハラなどの性的被害や女性の労働問題を中心に活動。カウンセリングのほか「自己尊重」「コミュニケーション」「メンタルヘルスケア」「ハラスメント」「エンパワメントにつなげる支援」「傾聴」「ファシリテーション」「相談員トレーニング」などをテーマにした講演、ワークショップ多数。

著書紹介

働く人のための「読む」カウンセリング  
ピープル・スキルを磨く  
研究社 定価1,404円

カウンセリング分野の知識やスキルを活かして、自分の心のクセに気づき、ストレスの少ない生き方をするためのヒントが紹介されています。



“情報ライブラリー”  
おすすめBOOK

～新着図書のご案内～

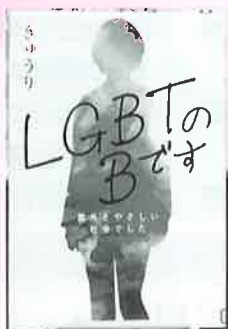
寒い日は本でも読みながら、よりん彩で一息つかれますか？  
今回の“おすすめBOOK”は情報ライブラリーに新しく入った図書を紹介します。

LGBTのBです 意外とやさしい社会でした

きゅうり／著  
総合科学出版 2017年

性的マイノリティの著者が、思春期から就職まで、当事者として語れることをまとめた一冊。

自分の性と向き合い方からカミングアウトまで、またカミングアウトをされた側はどう接すればいいか…。LGBTの当事者、また家族や友人、職場など周りにLGBTがいる人にも読んで欲しい本です。



ワンオペ育児 わかってほしい休めない日常

藤田 結子／著  
毎日新聞出版 2017年

鋭い社会学者が、朝から晩まで働きつめの母親たちの実情に迫る。ワンオペ育児に苦しむ女性はもちろん、これから子どもを育てようとする人、育児が終わった人みんなに読んでほしい、特に、男性に読んでいただきたいおすすめの本です。



理系男子の恋愛トリセツ

瀬地山 角／著  
晶文社 2017年

恋愛だけではなく、職場や家庭で理系男子と末永く付き合っていく方法が分かりやすくまとめてあります。東大で理系クンを教える瀬地山角さんがジェンダー論から考えました。



不機嫌な長男・長女無責任な末っ子たち

「きょうだい型」性格分析&コミュニケーション  
五百田 達成／著  
ディスカヴァー・トゥエンティワン 2016年

思わず「あるある」と言ってしまうエピソード、相性チェック表など、仕事、恋愛、結婚、友人……あらゆる人間関係に役立つ一冊。なるほど!と思える、わかりやすく深い本です。



利用のご案内

- 貸出点数 — 図書10冊、ビデオ2点
- 貸出期間 — 3週間
- 団体貸出 — 100冊、8週間の貸出ができます。
- よりん彩ホームページや「鳥取県図書館横断検索」で資料がさがせます。
- 県立図書館や市町村立図書館に申し込み、取り寄せができます。

よりん彩では県民の皆さまが企画運営される活動に対して、次のような支援を行っています。

ご利用ください！  
残りわずかです。  
まだ、間に合いますよ。



## あなたの企画を 応援します。

### 平成29年度 よりん彩活動支援事業補助金

県内で活動する団体やグループ、企業、若者グループが、男女共同参画を学ぶ目的で自ら企画・運営する講演会や学習会などに対して補助金を交付します。

### 公開講座

広く一般に公開し、50名以上の参加者が見込める講座  
上限12万円（12月中に申請）

### 若者企画講座

県内の学生や若者が企画し、一般へも参加を呼びかける講座  
上限5万円  
（1月末までに申請）



## セミナー・講座のご案内

- テーマ 障がい者スポーツにおけるアスリート活躍推進セミナー  
「たちあがるチカラ～いつかはきっとできる～」
  - 日時 平成30年1月20日(土)  
13:30～16:30
  - 会場 講演(13:30～15:00)  
鳥取市さざんか会館大会議室  
鳥取市富安2丁目104-2  
エキシビジョン(15:30～16:30)  
鳥取市高齢者福祉センター体育館  
鳥取市富安2丁目104-1
  - 講師 別所キミエさん  
(リオパラリンピック卓球日本代表選手)
  - 企画運営 一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会
- 
- テーマ (仮)上野千鶴子の社会福祉・男女共同参画講演会
  - 日時 平成30年2月3日(土) 13:30～(予定)
  - 会場 用瀬地区保健センター(予定)  
鳥取市用瀬町別府96-2
  - 講師 上野千鶴子さん  
(社会学者・東京大学名誉教授)
  - 企画運営 特定非営利活動法人 十人十色

## 鳥取県男女共同参画センター よりん彩

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5 倉吉未来中心1階

電話(代表) 0858-23-3901 ファクシミリ 0858-23-3989

HPアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/yorinsai/> 電子メール [yorinsai@pref.tottori.lg.jp](mailto:yorinsai@pref.tottori.lg.jp)

「よりん彩」は県民皆さんの施設です。お気軽にお立ち寄りください。

### センター相談室(倉吉:よりん彩内)

電話:0858-23-3939  
火曜日～日曜日 午前9時～午後5時(第3木曜日を除く)  
土、日、祝日可(月曜日が祝日の場合は翌日が休み)  
専門相談(臨床心理士による心の相談・法律相談)  
も行っています。各相談室にお問い合わせください。

### 東部相談室 ● 西部相談室 (県庁第2庁舎1F) ● (米子コンベンションセンター4F)

電話:0857-26-7887 ● 電話:0859-33-3955  
月曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時  
(第3木曜日を除く)

男性相談員が対応する男性一般相談を始めました。(センター相談室)  
電話:0858-23-3955 相談日時:毎週土曜日 午後1時30分～5時30分

※広報誌「よりん彩」へのご意見、ご感想などをお寄せください。次号は平成30年3月発行予定です。  
よりん彩ネット・電子メールの配信をご希望の方はよりん彩メールアドレスへご連絡ください。